

(地域情報の発信の強化－5)

青森県のお店情報発信サービス「ぴらなび@ami' z」
(株)富士通東北システムズ
<http://pr.amiz.jp/>

〔概要〕

お店の紹介ページ (HP)、身近な話題を提供する店員日記 (BLOG)、お客様へのメール配信、ケータイで特典交換できる電子クーポン、お店のモバイル会員登録などの機能を、ケータイ (含む PC) だけで利用できる地域共同利用型のお店情報発信サービスです。地域 SNS など地域住民が集うサイトとも連動し、埋もれた地域のお店を浮上させるとともに、お店の会員づくりなど来店客のリピータ化を支援しています。

〔コラム〕

ICTの普及・進化により、通販など物販事業には大きな恩恵をもたらしましたが、飲食店など来店型の事業者の多くは、まだ紙媒体に依存しており、情報発信コストが割高となっています。

また、ケータイを活用した会員サービスによる顧客囲い込みなど、来店型事業者にはケータイの活用が有効ですが、小規模店舗で同様のサービスを構築するのは容易ではなく、情報発信力による格差が段差になりつつあります。

この課題に着目し、地域の小規模店舗の情報発信力を底上げするため、以下の情報サービスを構築しました。ここから発信された情報は地域 SNS や観光サイトなど様々な地域メディアと連動し、多角的に情報流通される地域の情報基盤としての位置づけにもなっています。

1. 地域メディアへお店情報を発信

地域住民が集う地域 SNS や、地域のお店情報ポータルサイトを開設し、これら地域メディアとの連動により、お店からの発信情報を地域住民へ届けます。

2. お店のリピータづくり

店頭にお店専用 QR コードを表記した POP 等を設置。来店客はケータイで、そのお店の優待会員として登録できます。お店の発信したオススメ情報はメール等で配信され、今日の入荷情報など、これまで来店しないと伝えることができなかった情報をお得意様にタイムリに発信できます。

3. 地域での共同利用型サービス

地域の共同利用型サービスにすることで、利用コストを抑制でき (基本無料、有料 OPTION は月額 2,625 円)、地域のお店の集合により露出機会の相乗効果も生まれます。また、地域の公共観光サイトなどとも連携し、旅行者に着地側のお店から生の声、旬な情報なども発信しています。



ケータイ1つで利用できる集客ツールを地域で共同利用



<http://pr.amiz.jp/>

〔制作費（うち公的な補助額）〕

H20年度 青森県 情報ビジネスモデル研究事業 補助額：150万円
 （青森県商工労働部新産業創造課）

（問い合わせ先）

株式会社富士通東北システムズ青森事業所
 インターネットサービス事業部ビジネスモデル変革室 米田（まいた）
 TEL：017-762-1053 e-mail：maita-t@jp.fujitsu.com